

名前：

近年のインターネットの発展はめざましいものがある。世界中どこでもいつでもアクセス可能であり瞬時に知りたい情報を得ることが出来る。しかし私は、いくらインターネットでどんなニュースも見ることが出来るからといって、新聞や雑誌はもういらぬとは言えないと考える。

確かに、インターネットは便利である。新聞や雑誌と違って、一瞬一瞬ごとに情報が更新されており、いつでも最新のニュースを手に入れることが出来る。また、情報量は無限だと言って良い程あるに返っている。そして私達はその大量の情報の中から気になるもののみをピックアップして入手しているのだから、非常に効率が良いと言える。

しかし、新聞や雑誌は必要である。理由の一つに、インターネットによるニュースの難点として「情報の匿名性」が挙げられる。インターネット上のニュースの中には情報源が不確かなものも多くあり、私達はそれらと

突き止めることは困難であるので、情報としての価値・信用性を自分で判断しなければならぬのである。また二つ目の理由は、世の中にはインターネットを利用できない人もまだ多くいるということだ。インターネットを閲覧するにはパソコンが必要である。すると、経済面、使い方が分からない、周囲にパソコンも利用できる環境が整っていないなどの理由でインターネットでニュースを見ることが出来ない人々が出てくる。知る権利は誰にでも平等に与えられているはずなのに、これでは損なわれてしまう。

それゆえ、私は新聞・雑誌は必要だと考える。今までの主要なメディアであったことから情報源を信用でき、誰でも平等に情報を得ることが出来る。またパソコンという高価な媒体も必要ない。そして何より、情報を手に入れる手段としては出来るだけ数多くある方が情報の中立性が保たれるので、新聞・雑誌は今後もあるべきだと私は考える。

1800字